

医療関連感染対策の専門誌 **インфекションコントロール 2018.3月号**

第1特集

すべてのスタッフを巻き込もう！
感染対策 “ムカンシン組” への教え方・引き込み方 大作戦
 プランナー：小野和代 東京医科歯科大学医学部附属病院

医療現場には、高度な知識・技術・技能を持つ複数の専門職、そして事務職をはじめとした非医療職の方々も存在します。医療における知識や専門性の違いから、同じ医療現場においても関心事には違いがあり、感染対策への関心度合いも同様と考えます。一方で、手指衛生をはじめとする基本的な感染対策は、職種問わず同じ実践レベルが求められます。そこで、感染対策担当者は、「感染対策にあまり関心がない」「感染対策に協力的ではない」無関心層(ムカンシン組)に対し、関心アップを図ろうと活動します。“関心が低くても、最低限の感染対策が実行されればよし”とする考え方もありますが、ムカンシン組が及ぼす負の影響を考え、実践レベルを確実にするために、関心度アップへのアプローチも欠かせない現状です。そこで今回は、“ムカンシン組”の特徴などを踏まえたアプローチに関して情報共有し、他施設でのアイデアが自施設での取組みのヒントとして少しでも役立てればと考え企画いたしました。

特集1 ムカンシン組からやる気マンマン組へ変身する 3つのポイント	本田 仁	東京都立多摩総合医療センター
特集2 医師としてのアプローチ！	青木洋介	佐賀大学医学部附属病院
特集3 看護師としてのアプローチ！	藤田明子	大阪市立大学医学部附属病院
特集4 薬剤師としてのアプローチ！	相曾啓史	東京医科歯科大学医学部附属病院
特集5 臨床検査技師としてのアプローチ！	佐藤智明	東京大学医学部附属病院
特集6 介護士、看護補助者へのアプローチ！	松島由実	社会福祉法人 畿内会 岡波総合病院
特集7 清掃担当者へのアプローチ！	藤田昌久	日本医科大学付属病院

広告締切

申込締切日：2017.12.26 版下出版社必着：4C 2017.12.26 1C 2018.1.16 綴込 2018.1.19

広告料
(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	300,000	205×172 <small>【断ち切り】</small>
表2	カラー	1頁	280,000	257×182 <small>【断ち切り】</small>
表3	カラー	1頁	250,000	257×182 <small>【断ち切り】</small>
目次下	カラー	1/3頁	110,000	70×150
前付	カラー	1頁	180,000	257×182
前付	1色	1頁	100,000	220×150 <small>【断ち切り】</small>
後付	1色	1頁	80,000	220×150
後付	1色	1/2頁	50,000	105×150
前付綴込		1枚	140,000	
中付綴込		1頁	140,000	
後付綴込		1枚	120,000	

※スペースに限りがございますので、お問い合わせください。
 ※スペースに限りがございますので、お問い合わせください。
 ※スペースに限りがございますので、お問い合わせください。

仕上がり
 天地左右3mm
 タチシロありの印刷物

(株)メディカ出版 総広告代理店

株式会社 メディカ・アド

〒105-0013
 東京都港区浜松町1-12-9 第一長谷川ビル2F
 TEL: 03-5776-1853 FAX: 03-5776-1854
 担当：営業部

- 広告原稿は完全データをお願いします。イラストレータCS6まで対応しております。
- 入稿の際は、必ず出力ファイルを保存したメディア、出力見本、データ仕様書の3点セットをご準備ください。
- 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

◇ <http://www.medica.co.jp/ad/> の各誌「広告企画ダウンロード」から、この情報をPDFでダウンロードいただけます。

医療関連感染対策の専門誌 **インフェクションコントロール** 2018.3月号

第2特集

いまさら誰にも聞けない！
ICTのための血液培養の取り方と使い方
プランナー：倉井華子 静岡県立静岡がんセンター

血液培養は感染症診療の上で最も重要な診断ツールであり、診断と治療に大きく影響を及ぼします。血液培養の質を上げ、結果を最大限に生かすためにICTとして取り組む意義があります。検査の感度を上げるために、抗菌薬投与前に複数セット採取すること、速やかに培養を開始することが必要です。コンタミネーションを減らすことは不必要な抗菌薬を避けることにつながります。現場の教育とともに、病院として血液培養の質が担保できているか評価することがICTに求められています。黄色ブドウ球菌菌血症をはじめ、診療プロセスにICTがかかわることで患者の予後改善につながるデータが出ています。積極的なDe-escalationは患者の予後改善や治療費削減、耐性菌抑制につながります。血液培養は臨床の根本にかかわります。取り組む課題は多いですが、行動は必ずよい結果につながります。チームとして何ができるか、どこまでできるか今回の特集で一緒に考えてみましょう。

- 特集1 血液培養にチームでかかわるメリットは？ 鈴木 純 岐阜県総合医療センター
- 特集2 誰でもできる！ICT血液培養採取の教え方
パワーポイントデータつき！ 野田幸世 静岡県立静岡がんセンター
- 特集3 血液培養の質を評価し向上させるために 村松有紀 愛知医科大学病院

連載

- 「What's NEW？」 本田 仁 東京都立多摩総合医療センター
- 「月刊CDCガイドラインニュース」 矢野邦夫 浜松医療センター
- 「私を変えたあの一言」 田辺正樹 三重大学医学部附属病院

読者ターゲット

感染対策に関心の高いナース、医師、検査技師、薬剤師を含むコメディカル、事務職員等

ADポイント

今後さらに医療従事者に求められる感染対策の実践。国レベルでも感染対策に取り組んでいます。本誌は感染対策の専門誌として、幅広い層から着実な信頼を得ています。

広告締切

申込締切日：2017.12.26 版下出版社必着：4C 2017.12.26 1C 2018.1.16 綴込 2018.1.19

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	300,000	205×172 <small>【断ち切り】</small>
表2	カラー	1頁	280,000	257×182 <small>【断ち切り】</small>
表3	カラー	1頁	250,000	257×182 <small>【断ち切り】</small>
目次下	カラー	1/3頁	110,000	70×150
前付	カラー	1頁	180,000	257×182
前付	1色	1頁	100,000	220×150 <small>【断ち切り】</small>
後付	1色	1頁	80,000	220×150
後付	1色	1/2頁	50,000	105×150
前付綴込		1枚	140,000	
中付綴込		1頁	140,000	
後付綴込		1枚	120,000	

※スペースに限りがございますので、お問い合わせください。

仕上がり
天地左右3mm
タチシロありの印刷物

(株)メディカ出版 総広告代理店

株式会社 メディカ・アド

〒105-0013
東京都港区浜松町1-12-9 第一長谷川ビル2F
TEL: 03-5776-1853 FAX: 03-5776-1854
担当：営業部

- 広告原稿は完全データをお願いします。イラストレータCS6まで対応しております。
- 入稿の際は、必ず出力ファイルを保存したメディア、出力見本、データ仕様書の3点セットをご準備ください。
- 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

◇ <http://www.medica.co.jp/ad/> の各誌「広告企画ダウンロード」から、この情報をPDFでダウンロードいただけます。